

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーション I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身に関連する日常的な事柄についての短い会話を聞いて、内容を理解することができる。	1	単元末テスト/考査	1学期	ア
	L2 □	自分自身と関わりの深い社会的な話題についてゆっくりはっきりと話されれば、聞いて内容を理解することができる。	6,8	単元末テスト/考査	2学期	イ
	L3 □	社会的な話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、概要や要点を聞いて理解することができる。	10	単元末テスト/考査	3学期	イ
Reading	R1 □	自分自身と関連した日常的な事柄について書かれた、非常に短い簡単な説明文やインタビュー等を読んで、内容を理解することができる。	1,2	考査	1学期	ア
	R2 □	自分自身と関わりの深い社会的な話題について絵・写真・辞書をヒントに、簡単な英語を用いて書かれた説明文・インタビュー等を読んで、内容を理解することができる。	5,7	考査	2学期	イ
	R3 □	歴史や文化に関連した社会的な問題について、簡単な語を用いて書かれた説明文やプレゼンテーション原稿を読んで、内容を理解することができる。	9	考査	3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	基本的な語や言い回しを用いて、日常のやりとりにおいて簡単な応答をすることができる。	2	パフォーマンステスト、ロールプレイ	1学期	ア
	SI2 □	自分自身と関わりの深い世間一般の話題について、はっきりと話されれば簡単な質疑応答ができる。	5,6	パフォーマンステスト、ロールプレイ	2学期	イ
	SI3 □	社会的な問題について、補助となる絵や物を用いたり準備の時間があれば、基本的な情報を伝え、簡単な意見交換をすることができる。	10	パフォーマンステスト、ロールプレイ	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	前もって発表することを準備した状態で、日常的な話題について、限られた構文で簡単な語句を用いて複数の文で意見を言うことができる。	3,4	スピーチ、プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 □	前もって発表することを準備した状態で、日常的な話題について、限られた構文で簡単な語句を用いて人前で短い話をするすることができる。	6,8	スピーチ、プレゼンテーション	2学期	ア
	SP3 □	前もって発表することを準備した状態であれば、写真や絵等の視覚的補助を利用しながら、社会的な話題について一連の簡単な語句を用いて人前で短い話をするすることができる。	10	スピーチ、プレゼンテーション	3学期	イ
Writing	W1 □	簡単な単語や定型文を用いて、日常的な事柄についての自分の意見や感想を2-3文程度書くことができる。	3,4	考査、エッセイライティング	1学期	ア
	W2 □	簡単な単語や基礎的な表現を用いて、自分と関わりの深い世間一般の話題について、5-6文程度で書くことができる。	7,8	考査、エッセイライティング	2学期	イ
	W3 □	基礎的・具体的な語句や文を、適切な接続詞等を用いてつなぎ、辞書をあまり使わなくても、自分と関わりの深い世間一般の話題について、まとまりのある文章が書ける。	9	考査、エッセイライティング	3学期	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

## 【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	学 年:	1年
科目名:	英語コミュニケーション I		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	L	ア	単元末テスト/考査	L1□	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身に関連する日常的な事柄についての短い会話を聞いて、内容を理解することができる。
	4	1	R	ア	考査	R1□	自分自身と関連した日常的な事柄について書かれた、非常に短い簡単な説明文やインタビュー等を読んで、内容を理解することができる。
	5	2	R	ア	考査	R1□	自分自身と関連した日常的な事柄について書かれた、非常に短い簡単な説明文やインタビュー等を読んで、内容を理解することができる。
	5	2	SI	ア	パフォーマンステスト、ロールプレイ	SI1□	基本的な語や言い回しを用いて、日常のやりとりにおいて簡単な応答をすることができる。
	6	3	SP	ア	スピーチ、プレゼンテーション	SP1□	前もって発表することを準備した状態で、日常的な話題について、限られた構文で簡単な語句を用いて複数の文で意見を言うことができる。
	6	3	W	ア	考査、エッセイライティング	W1□	簡単な単語や定型文を用いて、日常的な事柄についての自分の意見や感想を2-3文程度書くことができる。
	7	4	SP	ア	スピーチ、プレゼンテーション	SP1□	前もって発表することを準備した状態で、日常的な話題について、限られた構文で簡単な語句を用いて複数の文で意見を言うことができる。
	7	4	W	ア	考査、エッセイライティング	W1□	簡単な単語や定型文を用いて、日常的な事柄についての自分の意見や感想を2-3文程度書くことができる。
2	9	5	R	イ	考査	R2□	自分自身と関わりの深い社会的な話題について絵・写真・辞書をヒントに、簡単な英語を用いて書かれた説明文・インタビュー等を読んで、内容を理解することができる。
	9	5	SI	イ	パフォーマンステスト、ロールプレイ	SI2□	自分自身と関わりの深い世間一般の話題について、はっきりと話されれば簡単な質疑応答ができる。
	10	6	L	イ	単元末テスト/考査	L2□	自分自身と関わりの深い社会的な話題についてゆっくりはっきりと話されれば、聞いて内容を理解することができる。
	10	6	SI	イ	パフォーマンステスト、ロールプレイ	SI2□	自分自身と関わりの深い世間一般の話題について、はっきりと話されれば簡単な質疑応答ができる。
	11	6	SP	ア	スピーチ、プレゼンテーション	SP2□	前もって発表することを準備した状態で、日常的な話題について、限られた構文で簡単な語句を用いて人前で短い話をすることができる。
	11	7	R	イ	考査	R2□	自分自身と関わりの深い社会的な話題について絵・写真・辞書をヒントに、簡単な英語を用いて書かれた説明文・インタビュー等を読んで、内容を理解することができる。

	11	7	W	イ	考查, エッセイライティング	W2□	簡単な単語や基礎的な表現を用いて, 自分と関わりの深い世間一般の話題について, 5-6文程度で書くことができる。
	12	8	L	イ	単元末テスト	L2□	自分自身と関わりの深い社会的な話題についてゆっくりはっきりと話されれば, 聞いて内容を理解することができる。
	12	8	SP	ア	スピーチ, プレゼンテーション	SP2□	前もって発表することを準備した状態で, 日常的な話題について, 限られた構文で簡単な語句を用いて人前で短い話をする事ができる。
	12	8	W	イ	エッセイライティング	W2□	簡単な単語や基礎的な表現を用いて, 自分と関わりの深い世間一般の話題について, 5-6文程度で書くことができる。
3	1	9	R	イ	考查	R3□	歴史や文化に関連した社会的な問題について, 簡単な語を用いて書かれた説明文やプレゼンテーション原稿を読んで, 内容を理解することができる。
	1	9	W	イ	考查, エッセイライティング	W3□	基礎的・具体的な語句や文を, 適切な接続詞等を用いてつなぎ, 辞書をあまり使わなくても, 自分と関わりの深い世間一般の話題について, まとまりのある文章が書ける。
	2	10	L	イ	単元末テスト/考查	L3□	社会的な話題について, ゆっくりはっきりと話されれば, 概要や要点を聞いて理解することができる。
	2	10	SI	イ	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI3□	社会的な問題について, 補助となる絵や物を用いたり準備の時間があれば, 基本的な情報を伝え, 簡単な意見交換をすることができる。
	2	10	SP	イ	スピーチ, プレゼンテーション	SP3□	前もって発表することを準備した状態であれば, 写真や絵等の視覚的補助を利用しながら, 社会的な話題について一連の簡単な語句を用いて人前で短い話をする事ができる。

英語コミュニケーションⅠ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
話すこと [やり取り]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。
話すこと [発表]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。